

“10月1日国際コーヒーの日”直前、 レギュラーコーヒーに関する実態調査

昭和世代・平成世代 共にレギュラーコーヒー好きと判明

日本家庭用レギュラーコーヒー工業会(以下、当会/東京都港区 会長:柴田 裕)は、記念すべき年の令和元年10月1日国際コーヒーの日を直前に、レギュラーコーヒーに関する実態調査を実施いたしました。

日本は世界でも有数のコーヒー消費国といわれています。家庭でハンドドリップやコーヒーマシンが普及している国です。さらに40年以上前から喫茶店文化もあり、コーヒー好きな国民です。

今回の調査では、コーヒー好き国民の日本人10代~60代男女1,080名を対象にアンケートを行い、レギュラーコーヒーに関する実態を探りました。

主な調査結果は以下の通りです。

- 家でレギュラーコーヒーを飲むようになったきっかけで最も多いのは、「コーヒーが好きだから」(60.8%)である。次いで「美味しいから」(51.7%)、「家で入れる方が割安だから」(31.9%)、「家族の影響」(25.0%)と続く。
- 昭和世代・平成世代別で飲み方をみると、昭和世代「ブラック」(66.6%)、平成世代「ブラック」(47.5%)という傾向。
- 昭和世代・平成世代別でみると、昭和世代は平成世代より「季節に関係なくホットコーヒー」(48.5%)の割合が高く、平成世代は「季節に関係なくアイスコーヒー」(13.1%)の割合が昭和世代に比べて2倍以上。
- 家でレギュラーコーヒーを飲むときの抽出方法について最も多いのは、「ハンドドリップ(ネル、ペーパーなど)」(51.6%)である。次いで「コーヒーマシン」(42.3%)、「簡易抽出型」(25.8%)、「サイフォン」(4.4%)と続く。

調査概要

調査名:レギュラーコーヒーの意識調査。

調査方法:インターネット調査

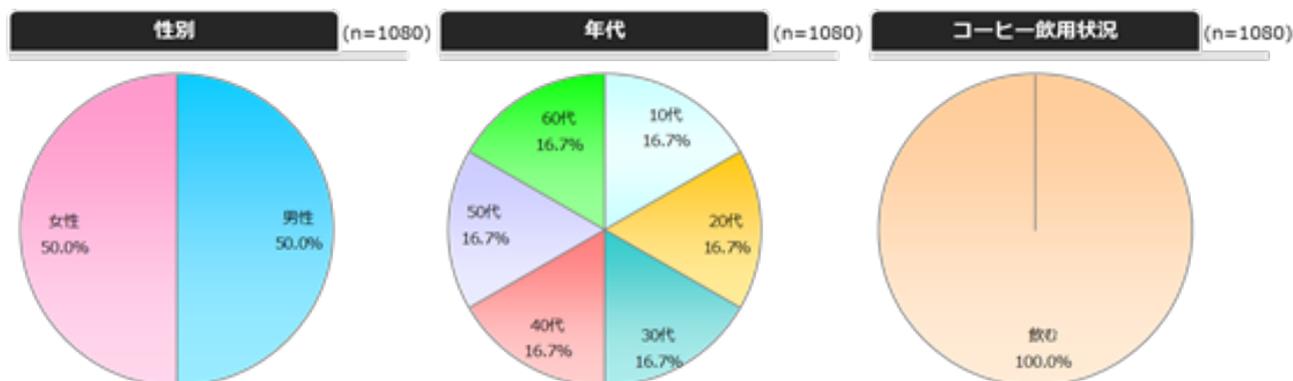
実施期間:2019年7月22日(月)~7月24日(水)

調査対象:10代~60代男女1,080名(全国)家庭内レギュラーコーヒー飲用者

調査実施協力:株式会社ネオマーケティング

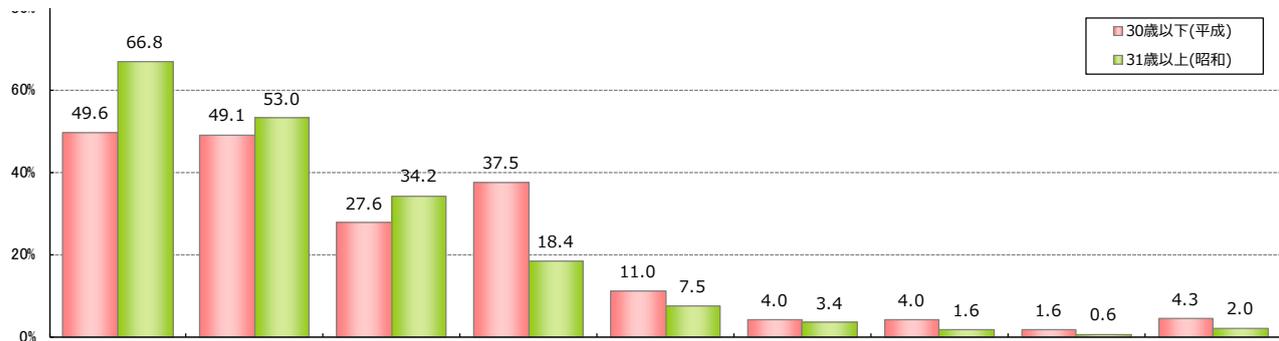
- ・nは回答者数を表している。
- ・回答率(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。
このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- ・設問の回答には、単一回答と複数回答がある。
複数回答の設問は、回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。
- ・nが30未満の数値は参考値とする。

回答者属性



Q1. 家でレギュラーコーヒーを飲むようになったきっかけをお知らせください。(お答えはいくつでも)

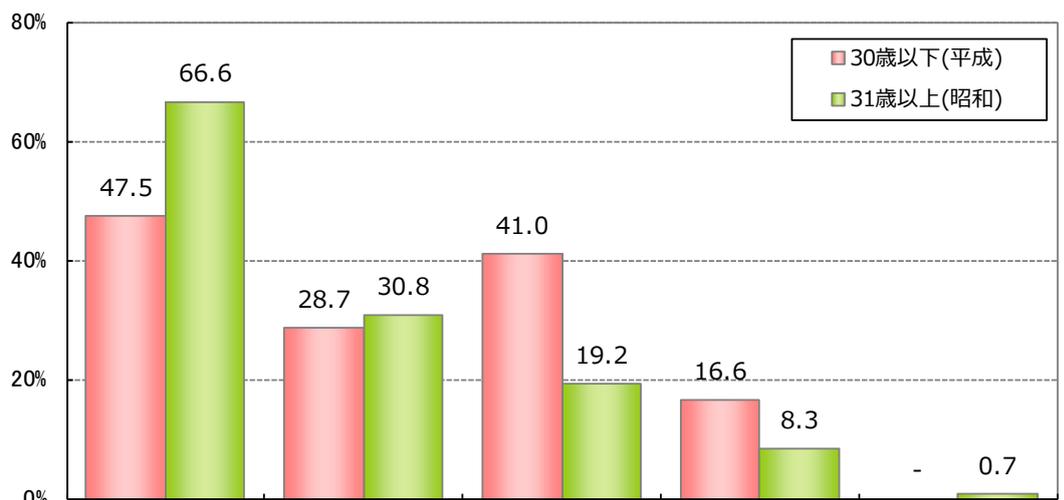
- 家でレギュラーコーヒーを飲むようになったきっかけについて最も多いのは、「コーヒーが好きだから」(60.8%)である。次いで「美味しいから」(51.7%)、「家で入れる方が割安だから」(31.9%)、「家族の影響」(25.0%)と続く。
- 昭和世代・平成世代別でみると、平成世代は昭和世代に比べ、「家族の影響」が高く、「コーヒーが好きだから」が低い。



		n=	好きだから	美味しいから	家で入れる方が割安だから	家族の影響	興味・憧れ	友人の影響	ファッション感覚で	もてたいから	その他
全体		1,080	60.8	51.7	31.9	25.0	8.7	3.6	2.4	0.9	2.8
性別	男性	540	61.5	49.3	30.0	23.5	10.4	3.5	3.3	1.3	3.1
	女性	540	60.2	54.1	33.9	26.5	7.0	3.7	1.5	0.6	2.4
昭和・平成別	30歳以下(平成)	373	49.6	49.1	27.6	37.5	11.0	4.0	4.0	1.6	4.3
	31歳以上(昭和)	707	66.8	53.0	34.2	18.4	7.5	3.4	1.6	0.6	2.0
男性×	男性30歳以下(平成)	187	52.9	48.7	27.8	35.8	12.3	3.2	5.3	2.1	3.7
昭和・平成別	男性31歳以上(昭和)	353	66.0	49.6	31.2	17.0	9.3	3.7	2.3	0.8	2.8
女性×	女性30歳以下(平成)	186	46.2	49.5	27.4	39.2	9.7	4.8	2.7	1.1	4.8
昭和・平成別	女性31歳以上(昭和)	354	67.5	56.5	37.3	19.8	5.6	3.1	0.8	0.3	1.1

Q2. あなたのレギュラーコーヒーの飲み方をお知らせください。(お答えはいくつでも)

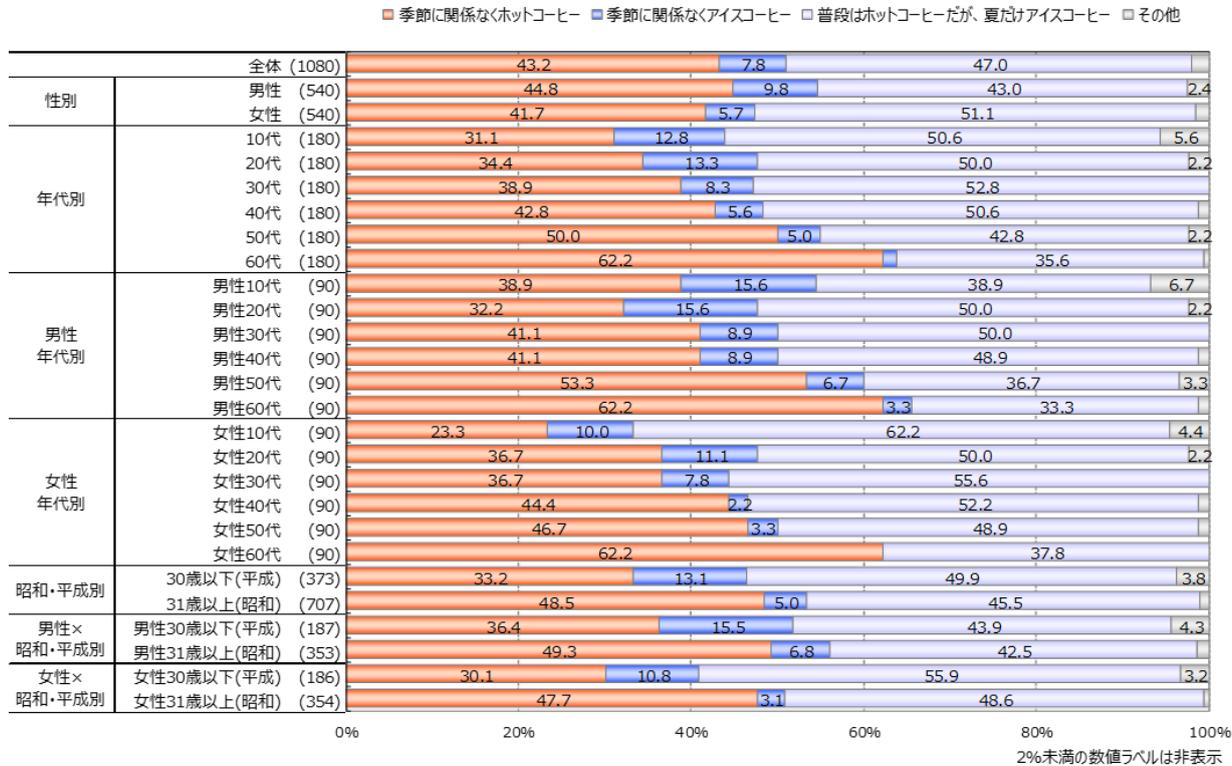
- 昭和世代・平成世代別でみると、昭和世代「ブラック」(66.6%)、平成世代「ブラック」(47.5%)という傾向。
- レギュラーコーヒーの飲み方について最も多いのは、「ブラックコーヒー」(60.0%)である。次いで「ミルクのみいれる」(30.1%)、「砂糖とミルクをいれる」(26.8%)、「砂糖のみいれる」(11.2%)と続く。



		n=	ブラックコーヒー	ミルクのみいれる	砂糖とミルクをいれる	砂糖のみいれる	その他
全体		1,080	60.0	30.1	26.8	11.2	0.5
性別	男性	540	65.9	25.0	24.3	13.1	0.4
	女性	540	54.1	35.2	29.3	9.3	0.6
昭和・平成別	30歳以下(平成)	373	47.5	28.7	41.0	16.6	-
	31歳以上(昭和)	707	66.6	30.8	19.2	8.3	0.7
男性×	男性30歳以下(平成)	187	53.5	27.3	36.4	20.3	-
昭和・平成別	男性31歳以上(昭和)	353	72.5	23.8	17.8	9.3	0.6
女性×	女性30歳以下(平成)	186	41.4	30.1	45.7	12.9	-
昭和・平成別	女性31歳以上(昭和)	354	60.7	37.9	20.6	7.3	0.8

Q3. あなたは、コーヒーをホットとアイスどちらで飲むかお知らせください。(お答えは1つ)

- 昭和世代・平成世代別でみると、昭和世代は平成世代より「季節に関係なくホットコーヒー」(48.5%)の割合が高く、平成世代は「季節に関係なくアイスコーヒー」(13.1%)が昭和世代に比べて2倍以上。
- コーヒーをホットとアイスどちらで飲むかについて最も多いのは、「普段はホットコーヒーだが、夏だけアイスコーヒー」(47.0%)である。次いで「季節に関係なくホットコーヒー」(43.2%)、「季節に関係なくアイスコーヒー」(7.8%)と続く。
- 年代別でみると、「季節に関係なくホットコーヒー」は年代が上がるほど高くなる傾向。60代が最も高く、62.2%である。



Q4. あなたが家でレギュラーコーヒーを飲むときの抽出方法をお知らせください。(お答えはいくつでも)

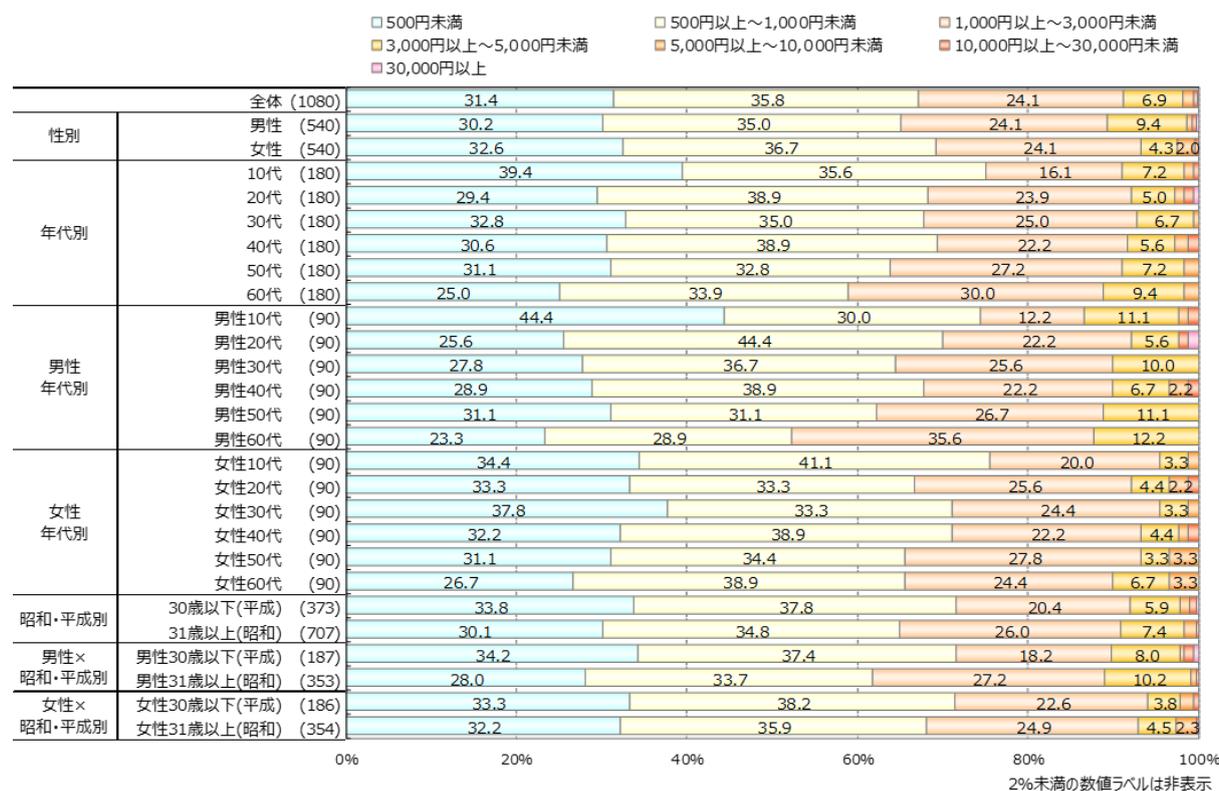
- 家でレギュラーコーヒーを飲むときの抽出方法について最も高いのは、「ハンドドリップ (ネル、ペーパーなど) 」(51.6%)である。次いで「コーヒーマシン」(42.3%)、「簡易抽出型」(25.8%)、「サイフォン」(4.4%)と続く。



		n=	全体+10%以上	全体-10%以下 (属性n=30以上)	その他		
全体		1,080	51.6	42.3	25.8	4.4	0.2
性別	男性	540	48.9	43.1	26.3	5.4	0.2
	女性	540	54.3	41.5	25.4	3.5	0.2
昭和・平成別	30歳以下(平成)	373	50.4	41.0	24.9	4.8	0.3
	31歳以上(昭和)	707	52.2	43.0	26.3	4.2	0.1
男性×昭和・平成別	男性30歳以下(平成)	187	45.5	43.3	26.2	4.8	-
	男性31歳以上(昭和)	353	50.7	43.1	26.3	5.7	0.3
女性×昭和・平成別	女性30歳以下(平成)	186	55.4	38.7	23.7	4.8	0.5
	女性31歳以上(昭和)	354	53.7	42.9	26.3	2.8	-

Q5. あなたがご自宅で毎月、1人分としてコーヒー豆や粉にかける費用はどのくらいですか。
1ヶ月の平均金額をお答えください。(お答えは1つ)※ご家族分を含めて購入している場合は、
購入金額を1人分に換算してください。

- コーヒー豆や粉にかける費用について最も割合が高いのは、「500円以上～1,000円未満」(35.8%)である。次いで「500円未満」(31.4%)、「1,000円以上～3,000円未満」(24.1%)、「3,000円以上～5,000円未満」(6.9%)と続く。
- 年代別でみると、10代は「1000円未満」で75.0%（1000円以上使っている割合は25.0%）。一方、60代は「1,000円以上～」の割合が41.1%と全層で一番高い。
- 昭和世代・平成世代別でみると、昭和世代の方が平成世代よりも金額を多く使っている傾向。



「日本家庭用レギュラーコーヒー工業会」概要

■ 日本家庭用レギュラーコーヒー工業会は、家庭用レギュラーコーヒーの製造若しくは加工業の団体で1990年に設立されました。ご家庭でも安全で、おいしいレギュラーコーヒーをお楽しみいただけるよう、レギュラーコーヒーに関する情報発信や啓蒙活動に努めております。

■ アドレス

<http://regular-coffee.org/>

報道関係者からのお問い合わせ先

PR事務局（株式会社クフムスリー内）

TEL：03-6402-0303 担当：本間（090-7800-0148）